

活動報告

マッチング事業報告

その1 パソコン教室

VG槻輪 会長

マッチング事業は、高槻市市民公益活動サポートセンターが提唱しています。

ボランティア活動をはじめ、趣味に、生活に、たくさん経験と知恵をもち、元気に活動するシニアが大勢います。また一方では、シニアの経験や技能を必要としている人やグループも数多くあります。

シニアの培われた経験や技能などに基づく活動と、こうしたサポートを必要としている人達のニーズを対象に、「出来ること」「したいこと」として「ほしいこと」をマッチングして、気楽に・楽しく社会活動に参加していくことです。

VG槻輪の活動がこのマッチング事業の趣旨と合致します。

丁度、清水コミュニケーションセンターの館長がパソコンに詳しく、多くの人にパソコンに親しんでも

らい操作出来るようになって欲しいとの要望を持っておられます。

こんな事から、平成18年下期から指導をすること

でマッチング出来ました。

マッチングの指導の内容は、パソコンを持ってはいるが操作出来ない人の為に、各自お持ちのパソコンを操作出来る様になつて貰うことです。

パソコンの機種・ソフト等が違う為に、今までの経験から1クラス5人程度が適当と考えました。

定員5名で応募して頂くのと、すぐに10名の受講希望者があり、2クラスとなり一人ではマッチング事業としては荷が重くな

り会員の協力を得てVG槻輪としてスタート致しました。

初級講座(ワードで年賀状を作る)を終わった時点で、更に習いたいとの受講希望者が多く中級も2クラスで行う事になりました。

中級クラスを修了しますと、文章は勿論、表・グラフや写真を入れた見やすい書類を各人のコンピュータで作成出来るようになられました。

今年(平成19年)4月から初級講座の公募を始めると、受付早々に満員になったとお聞きしパソコン操作を習いたい人が多いのだと思いました。

でも、教える側になりますと、受講者一人一人の機種とソフト等が違う上に、最新のソフト(Vista/Office 2007)を搭載した新機種の方などもおられます。

我々講師陣も火・金曜日のクラスに分け受講者全員が、初期の目的が達成出来るように指導していきます。

私達は「日進月歩」の時代に生きて来たと自負して来ましたが、コンピュータ業界では、「秒進分歩」というそうです。

私達講師は、何時も新しい事に挑戦しながら、努力していきます。

甘辛チャンネル

かわいそうな帽子

ある日市バスに乗り席に着きました。

ふと横を見ると通路をはさんだ座席に小学生の赤白帽子が置いてある。

拾って持とうと思つている時、他の乗客がその席に腰かけた、帽子に気づいている筈なのに知らぬ顔で・・・かわいそうな帽子は乗客のお尻の下で終点の停留所迄じつとがまんしていたわけだ。

私は乗客が降りた後かわいそうな帽子を持って運転手さんに「忘れ物です。」と持って行きました。

「帽子には名前は書いてありますけれど、どの学校かわかりませんけどね」と話しました。運転手さんは「今日は小学生達を貸し切りで乗せましたから調べればどの学校か解りますよ。」

ほっとして運転者さんに「この帽子を忘れた子供さん、今頃お母さんに『忘れて来てくあんたは』と叱られているかも知れませんな。」「必ず届けますから・・・」と。

見て見ぬふり、その上

に腰を掛けた方は、帽子が有ることを知らなかったかどうかと悪い方に解釈したり、良い方に解釈したり、複雑な気持ちで家路に着きました。

他に関わると思わぬ事態にさらされるから自己を守る為に心が失われてしまつて居るのではないかと。個を大切にしていかに無関心になりつつある現代社会としても悲しく寂しい。個を守り他にも関心を持ち共存出来る社会に戻したい。

なんて小さな出来事でしたが私の心は色々広がりをもち考えさせてくれた夕暮れでした。N.Y

味WAY

山椒味噌の作り方

山椒の葉はよく洗い、ミキサーにお酒を(ミキサーが回転するために入れるので少し)入れ、味噌 砂糖 山椒の葉を少量ずつ入れる。

味は途中でミキサーをとめ見してお好みにお豆腐・ご飯・ナスなどにかけて食べますと、山椒の香りがして美味しいです。

M.K

四季彩

そめいよしの

(染井吉野) 薔薇科サクラ属

花言葉：優れた美人

日本原産、江戸時代に江戸駒込の染井村から植栽がはじめられた。誕生地の「染井」の名を吉野桜の初めにつけて「染井吉野」になった

平成19年の気象は暖冬でしたので、気象庁の桜の開花宣言も例年より1週間は早いということでした。しかし、直前に寒気が到来して若干開花日もおくれた。

玉川の里の「桜まつり」も例年では、4月1日～10日の間でしたが、今年は早めて3月25日から4月1日を予定した。

桜の満開は4月9日(日)、すでに祭りの飾り提灯は取り外されて「桜の花」と「祭り」の盛り上がりにつれを生じてしまった年でした。

Y・N

「願わくは 花の下にて 春死なむ
そのささらざの 望月のころ」 西行

